

---

# 名言集 ver ~D y n a m i C

リリカルZ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タ  
テ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。  
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または  
は「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒ  
ナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範  
囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致し  
ます。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

名言集 ver.3 Dynamic

### 【著者名】

N1681Z

### 【作者名】

リリカルZ

### 【あらすじ】

今まで書いてきた中でこれはと思った名言や迷言などを作り自身  
の独断で選ばせて貰いそれを載せてみました。  
それだけです。

興味がありましたらご覧になって下さい。

## 何が何なの？ Dyadic の章 STS 編（前書き）

最初は『Strikers』編からです。

## 名前その？ Dynamicの章 STS編

### 序章より～

「お爺ちゃん・・・俺はやるよ。何時か俺の作った宇宙船で宇宙に住むいろいろな人々と交流を深めてみせる・・・だから、天国で見守っていてくれ」

甲児の祖父への強い想いと夢へ向かってまっすぐに突き進んでいる現状を表した言葉。

これにより甲児がどんな人間か大体分かりそうな気がします。

「はつはつは、何もそんなに慌てる事は無いじゃないか・・・あいかわらずだなあ甲児くんは」

弓教授が急ぎ転移装置に向かい走っていく甲児に向かって笑いながら言った言葉。

いくつになつても甲児は甲児なのだなあといつ安心感の籠つた一言にも感じられます。

「おいおい、グレーートは見世物じゃないんだぞ」

石油タンカーを持ち上げたグレーートの話をされて見世物扱いされてしまふとした鉄也の台詞。

確かにグレーートは見世物じゃありませんが、どうせにしてもあるの後

見世物になる予定だつた筈。

ではこの言葉は矛盾しているのでは？？？

「フフフ・・・フリーード星にひいたら少し頭を冷やさせてあげるわ  
ね」

転移装置の中に入つて楽しそうにしていた甲児に向かひさやかが放  
つた一言。

同じ言葉でも彼女が言ひと更に恐怖が増す気がします。

Striker-1S編開幕 出会ひよつ

「確かに不安もあるさ、けどこいつして地球以外の星でこいつして交流  
が持てると分かると逆に嬉しくて仕方ないんだよ」

甲児が尋ねてきたティアナとスバルに向かつて言つた言葉。

甲児のような肝つ玉の強さが無ければこんな事いえませんつて

「う～む、へソだし天然つ娘か、ツインテールのツンデレ・・・う  
～む、どちらも捨てがたいの～」

ティアナとスバルを見ながら十歳が呟いた一言。

天然とツンデレは切つても切れない縁なのでしょうか？

そして、何故そのネタを80日前の爺が知っているのか？  
それはまた永遠の謎である。

「丁度人暴れしたかつたところだ、纏めて面倒見てやるから来やが  
れ！」

突如現れた機鋼兵に向かい腕を鳴らしながら甲児が言つた言葉。

昭和の人間はどうも喧嘩っぱやいのが多いらしいですね。

平成のもやしつ子はそんな危ない事絶対に言わない筈です。  
・・・多分。

「くそお・・・こんな時に・・・こんな時に・・・マジンガーがありやああんな機鋼獸なんてぶちのめしてやるのに・・・」

機鋼獸を前に無力な甲児が呟いた一言。

何度も言いますがマジンガーに乗つてない兜甲児は只の人間です。

魔道師のようにビームを放つたり空を飛んだり出来ません。

それからこの一言が出たのだと思われます。

「あの野郎・・・人の十八番をパクリやがって・・・」

甲児が腕を飛ばした機鋼獸に向かい放つた一言。

だが、正しくはマジンガーの十八番であつて貴方のではありませんよ

「お前、ガキの癡に副隊長なんてやつてるのか?」

「信じられねえ・・・1000年も生きててそれっぽっちしか背が伸びねえってのも悲しいなあ」

「一つともはじめて甲児がヴィータを見て呴いた台詞です。

人は見かけによらないと言いますがこれは余りにも失礼な発言ですね。

その代償として甲児はこの後アイゼンでボコボコされましたが・・・

「マジンガーに乗つてない俺はこんなにも弱いんだからよ・・・

機動六課の面々の凄さを知つて如何に自分が弱いかを思い知った甲児がふと呴いた台詞。

彼等とは違ひ甲児は自分一人の力では戦えないと言つもどかしさを感じさせる台詞となります。

ですがこの後機鋼獸を素手で倒してしまつのですが・・・

「何だ、この世界の騎士つてのは腑抜けの集まりなのか?」

「一度戦つて駄目だつたから諦めるのかつて聞いてるんだよー」

二つ共騎士の名が指す通りシグナムとヴィータに向けて言い放った言葉です。

移動中に現れた機鋼獣。

それに対し成す術がないと悔しがる一人に甲児が叱咤した言葉です。

『へつ、無茶は俺の専売特許だぜ！』

甲児が皆に言つた台詞。

これも普通平成っ子は絶対に口にしない台詞ですね。  
つぐづく甲児はガキ大将タイプの人間と思われます。

鉄の魔神 後編より

「頭冷やしいや！ あなたの巨大な機鋼獣に生身のあんたが挑んで勝てる筈が無いやろ！」

機鋼獣が機動六課隊舎にやつてきたという知らせを聞いて一目散に飛び出そうとした甲児をはやてが止めた際に言い放った台詞。

確かに生身では20mの巨大な怪物には勝てませんって・・・

「やいやい！ テメエら何人ん家に土足で入り込んでんだ？ 来るんならノック位しゃがれ！」

甲児が殺人アンドロイドに向かつて言い放った台詞。  
でも、ノックつて何処でやるの？

「男つてのはな・・・自分より弱い奴を助ける為に命を賭けるんだ。  
・・それにはあ・・・こんなの只のかすり傷だぜ」

甲児がはやてを庇つた際に言つた台詞。  
しかし、両肩両足を貫かれてかすり傷とか言つても説得力がない氣  
が・・・

「へ、まさかことこうして話せる日が来るなんてな。夢にまで見て  
たのが現実になるなんてな」

乙グローブを手に入れた甲児がそれを見て呟いた台詞。  
長年の夢が叶つたと言つた想いが伝わります。  
でも・・・普通叶わないよねえ

「テメエらが傷つけた俺の仲間たちの分・・・100倍にして返し  
てやるぜ！」

マジンガーナに乗つた甲児が機鋼獣を前にして言い放つた台詞。  
甲児の怒りがひしひしと伝わってきます。

「遂に目覚めたのだな・・・甲児よ・・・だが、本当の戦いはこれからだ！これから先、もつと強力な機鋼獸が現れる！だが、お前とマジンガーなら決して負ける事は無い！戦うんだ！甲児」

マジンガーの圧倒的戦いぶりをモニター越しに眩いた謎の人物の台詞。

その言葉の通りこの後甲児には幾多の激闘が待ち受けていた。

特訓より~

「そう・・・それもその未来は間も無く訪れる・・・機械と鋼鉄により作られた獣、『機鋼獸』の手によって」

会議を行っていた管理局の高官達に謎の老人が見せた最悪の未来。それを見た高官達の殆どが戦慄と恐怖を覚えたに違いない。それほどまでに衝撃的な未来だったのです。

「ですが、未来を変えるには仕方の無い事だと思います・・・背に腹は変えられません」

パニック寸前の高麗達をレジアス中将が纏め上げる際に言った台詞。原作とは違いかなり丸いキャラになってしまったとの時は反省していました。

「すまねえな・・・俺がモタモタしてたばっかりに・・・安らかに眠ってくれよ」

「この世界は私達がきつと守つてみせるから・・・今は静かにお休みなさい」

戦闘を終えて、その際に犠牲になつた魔道師達の遺体を運びながら甲児とさやかが呟いた台詞。

世界は違えど同じ命。

その命の尊さを一人は知つていたのだ。

「いんやー」の人等ははづちの仲間やつたんやーはづちが最後に弔つてやらんと可愛そうやー」

甲児とさやかの行いをやろうとした際に一人に呟いた言葉。  
仲間をせめて弔つたこと言つはやての優しさがこの言葉から見える  
気がします。

「何処の世界に行つても、死に別れつてのは辛いな・・・」

甲児が遺体を運びながら呟く。

世界は違つても人の死は心を痛めます。

「それにな、今俺には家族同然の仲間達が居るんだ。寂しさなんて感じる暇すらねえぜ」

家族の死は誰でもとても痛々しいものです。  
ですが、甲児はそんな気持ちなど感じさせずに笑顔で言いました。  
兜甲児とは其処まで強い青年なのです。

「あれで魔法かよ！ どう見ても機械じゃねえか！ あれじゃ『魔法少女リリカルなのは』よりも『機甲少女メタリックなのは』って名乗つた方がしっくりくるぞ！」

さり気なくヤグツ氣を出す為に甲児に言わせました。  
元ネタは勿論あのアニメのタイトルです。

「何て言つか・・・力だけを求めてるって言つか・・・無理して強くなろうとしてるのが見えるんだよなあ」

かつて甲児にも似た様な時期があつただけに分かるようです。  
勿論遠くからフォワードメンバーの特訓を見てた際の言葉ですよ。

「今の特訓・・・もし鉄也さんが見たら何て言つと思つ？」

フォワードメンバーの特訓風景をもし特訓マニアが見たらなんと言  
うか。

そんな不安が感じられる一言でした。

「ま、三枚に卸されない事を祈るか」

模擬戦を行う事になつた甲兜とシグナムを見て、ヴィータが呟いた台  
詞。

物騒ぎころが縁起が悪すぎます。  
つてか、魚でもないのに三枚に卸せるのか？

「『』、誤解だ！シグナムさん！今のは事故であつて決してわざとじ  
やないんだ！これ本当だからー。」

模擬戦の際に思いつきリシグナムの『ボイン』に触つてしまつた甲  
兜。

今更弁解しても全てが『遅すぎます』

ホテルアグスター より

「無い頭を絞つた所で口クな策など沸かぬだろう」

度重なる敗北に苦渋の想いを募らせるショウに対し機鋼騎士のアギレスが吐き捨てた言葉。

それほどまではシユウを無能者と嗤つていたようですが。

「お～、こりゃ結構ボリュームあるでえ、なのはちやんの時と少し違つ氣もあるけど・・・大きさは同じ位やなあ」

ダイナミックキャラは基本的にボインが多いです。胸マニアのはやはてはきっと大満足するでしょう。と、思いながら書きました。

「何言つてんだ！エリオ、お前も男の子だろ？！これ位聞いて顔を赤くするなんて修行が足りないなあ」

女湯の話し声を聞きながら顔を真っ赤にしていたエリオに甲児が言い放つ。

しかしこの時甲児は滝の様に鼻血を流していましたが・・・

「へん、スター・ライト・ブレイカーやサンダー・スマッシュヤーが怖くて、機鋼獣と戦えるかよ」

桃源郷を挾む為なら収束砲の一発や二発は甲児には効きません。でもさやかの鉄拳だけは勘弁・・・

「男つてのはな・・・少なからず罪を作つてるもんなんだよ」

かつこいい感じの台詞ですが場所が場所だけにしつくり来ません。  
案外惜しい台詞でした。

「分かっただぞ！わしは誰かと融合出来るのではなく、誰かと誰かを  
融合させる事が出来るゴニゾンだつたんじや」

この時には沢山ネタがあつたのですが後になつて話をぶち壊す存在  
だと分かり止めました。

我ながら本当に頭が痛い台詞です。

「高町達から頼まれたのだ、今日の特訓は甲児を・・・・殺す氣  
でやれ・・・とな」

「田嶋の行いが悪かつたからこいつたんだ。恨むならこんな風にな  
つた自分を恨みな」

これに懲りたら覗きはしないで欲しいと思うのだが、残念ながらダ  
イナミック世界では一度や二度三途の川を拝んだ位ではやめません。

「こままお前が無茶な特訓を続けていたら、あつと・・・お前の仲間が泣く事になるぞ」

かつて自分も同じように仲間を泣かせてきたからこそ甲児が言つと  
とても大きな意味に聞こえる気がします。  
懐の広い甲児ならではの台詞でしょうね。

「泣きたきや泣け、俺の胸でよけりや貸してやるよ」

ティアナの胸中を聞いた甲児がティアナに言つた台詞。  
いつもしてみると甲児ってやつぱりフォワードメンバーワークの良い兄貴分  
ですね。

「俺達が命がけで戦つた勲章が・・・あの町の景色なのさ」

例え見返りがなくとも彼等はいつもして掛け替える無い物を貰つてい  
るのです。

だからこそ彼等は巨大な悪に闘つ事が出来るのです。  
そう思えるような台詞にしたかったです。

「これなら将来良い嫁さんになるぜー!頑張つて落とせよ」

甲児さん、幾ら向でも10歳のヒリオにその台詞は早すぎるのではないか?

「シャマルは自分では料理上手と思つてゐるらしいが、それを食べて病院送りになつた者は数知れずだ、氣をつけろ」

此処でもシャマルの殺人料理は健在の様です。

「当たり前やーうちの料理を食べたら口から波動砲が出せるからなあ」

例えにしてもネタが古すぎました。  
コレ知つてる人は・・・何人居るかなあ?

「へへ、それが俺、兜 甲児様よ」

異世界でも美人には弱い男。

それが彼である。

「他にも甲児は酔つた勢いであらんな事や、こらんな事もしどつたつけなあー」

はやての悪ふざけの犠牲になつた悲しい甲児。  
これに懲りたら深酒は厳禁つて事で。

「お前はマジンガーの代わりになる必要は無いんだよ。お前はお前だー」  
うして一緒に戦ってくれるだけでも俺は頑張れるんだ。だからあんま思いつめるなよ。」

思いつめるHリオに甲児が言った言葉。

見てないようで甲児はちゃんと顔を見ているみたいですね。

「ボス？それが名前なのか？ふざけた名前だな」

因みにボスの本名は作者さんも知らないみたいですね。

「聞こえなかつたのか？『私一人では厳しい』と言つたのだぞ」

ガミアがなのは達に言つた台詞。

ガミアを知ってる人ならこの後の展開を見た途端戦慄を覚える事でしょつ。

「人間とはつくづく哀れな生き物だな。我々のように恐怖を感じなければ楽な物を」

普通機械が恐怖を感じたら変ですよね。  
だから機械であるガミアには恐怖を感じる人間を不便と思えるので

じゅう。

悪夢……マジンガーZ対ゲッターロボ　～ より

「今の俺には頼りになる仲間が居るんだー。ここからが居る限り負け  
る気はないぜー！」

仲間が居る事はとても心強い事です。  
それを痛感させられます

「おー！俺様を忘れるなよー！」

この時正直本氣でボロッパーの事忘れてました。

「わしゃ わしゃ う、お約束じゃ ぞお

技を放つ時や合体する時は必ず叫ぶ。

これは古今東西ロボットアニメなりお約束な事です。

「フフフ、何とも心地良い響きよ。かつての仇敵といひじて再び合

間見えるとはな

かつての好敵手との再会は甲児には嫌な想いでしじうがDr・ヘルには嬉しい事だったのでしょうか。あんまり出番がなくてすみませんでした。

「あ・・・あれが・・・私達の・・・敵?」

この時初めて自分達がどれ程強大な敵に挑んでいたのかと言つ事実を痛感させられます。

「ああ・・・あんな気迫を持つ男を見たのは・・・何年振りだろうか・・・」

この台詞から彼等が過去にどの様な戦いを経験してきたかが予想できますね。

「エリオ・・・勝てるか?じゃない・・・勝つんだ!俺達は勝たなきやならないんだ!」

アニメで主人公側が常に『背水の陣』的な位置なのはお約束なのです。

そして其処からの一発逆転が燃えるのです。これこそロボットアニメの醍醐味ですね。

「許せねえ・・・機鋼獸共！あいつらを皆殺しにしてやるうう！」

さやかを失った甲児。

この時の甲児は正氣を失い悪魔の道へと突き進んでいた筈です。

「機鋼獸の1体も倒せねえ奴がデカイ面するんじゃねえ！奴等は俺一人で片付ける！てめえらは此処でジッとしてる」

一見酷い言い方にも聞こえますがこの言葉の中には六課のメンバーを巻き込みたくないと言つ甲児なりの不器用な優しさもあったかもしれません。

ですが、その想いに気づいた人は果たして何人居たか・・・

集結！ロボット軍団！ より

「フハハハ、この時を待っていたのだ！マジンガー無き六課の本部を叩き潰す事など赤子の手を捻る事より簡単な事だ！ゆけい！機鋼獸軍団！」

機鋼獸達にとつて恐るべき存在はマジンガーのみ。

そう思わせる台詞でした。

「機鋼獣共！貴様等のせいでさやかさんが死んだ！」これはさやかさんの弔い合戦だ！！てめえら一人残らず・・・地獄に叩き落してやる！」

さやかを失つた悲しみ、そして機鋼獣達に対する激しい怒りと憎しみが籠つた台詞に仕上げました。

「あれは・・・間違いない！あれは破壊の悪魔だ！」

復讐に燃える者を人はヒーローとは思わない。例え正義の為の戦いだとしてもそれは正義の味方ではなく『悪魔の化身』となってしまうのでしょうか。

「止せザルム！人間如きの言葉に耳を貸す必要などない！耳が腐るぞ」

この一言に機鋼騎士達が人間をどう見ているかが分かると思います。

「今のでめえは復讐つて言う小さい目標に目が眩んだ愚かな小物だ！俺の知ってる兜 甲兜はそんな器の小さい奴じやなかつたぜ！」

友として、又ライバル？として甲児を叱咤するボス。彼が居なかつたら甲児は立ち直れなかつたでしょう。

「俺とマジンガーは復讐の為に戦つてきたんじゃねえ！人類の平和を守る為に戦つて来たんだ！」

悪魔の化身がこの時初めてヒーローに返り咲いた瞬間です。

「やはり・・・お前は危険過ぎる・・・王の命令が無ければ直ちにこの場で殺せた物を」

この言葉の通り、兜甲児は悪党にとつては正に『触るな！キケン』な人物なのです。

「冷たいなあ・・・忘れたのか？私はかつて、お前のオシメを変えた事だつてあるんだぞ」

・ そんな意識もないときの事など甲児が覚えてる筈ありませんって・・

「何言つてんだ！例え世界が変わつても、この剣 鉄也は世界にたつた一人だぜ」

心強い助つ人の登場。

そしてこの余裕たっぷりの台詞である。  
にくいぞコンチクショウ。

「そうだ！お爺ちゃんはマジンガーは神にも悪魔にも成れるって言った・・・だけどマジンガーは神でも悪魔でもない・・・人類の平和を守る正義の『魔神』なんだ！」

望めば全てを想いのままに出来る力を持つていると言つのにそれを私利私欲に使わざ人々の為に利用する甲児は大変素晴らしい人だと僕は思います。

皆さんがもし神にも悪魔にもなれる力を手に入れたらどうします？

「やれやれ、こつちは雑魚掃除か・・・相変わらず美味しい所はしつかり頂く主義なんだなあ鉄也くんは」

呆れ口調で呟く竜馬。

ちやつかり美味しい所を持つていくのは鉄也さんだからこその感じがします。

「憶えておけ！マジンガーは貴様等の『レクシ』ンじゃない！平和を守る守護神だ！」

どんなに凶悪な兵器でも使い方を変えれば人類を守る事が出来る。逆にどんなに安全な物でも使い方を変えれば凶器へと変わる。最終的に神になるか魔になるかは人によるものなのです。

「あいつらに見せてやるぜ！俺達ゲッターチームの強さをよお！」

異世界でもゲッターチームのチームワークは健在です。

『何を言つてゐる…やる前から失敗する事を考へる奴などおひどい…』

何事も前向きなのが肝心ですよ。

「それより何より、このボスボロット様が居れば正に鬼に金棒だぜい！」

見得張るのも結構ですが時と場合を考えましょ。

「当たり前だ！あんな奴等に倒される程落ちぶれちゃいねえよ」

戦闘のプロである鉄也だからこそ言える台詞です。

「安心しろー元から変な顔してるからこれ以上変な顔になんねえよ」

幾らなんでもそれは酷い言い方だと思いますよノーヴンさん。

「出来る事ない・・・今すぐこでも本当の名を名乗つて愛する息子をこの手で抱きしめたいですよ・・・ですが、私には父親を名乗る資格などないのです」

彼にとっては甲児も鉄也も大事な息子なのです。

ですが鉄也の心を理解してやれず、彼を傷つけてしまった負い目から

彼は偽名を使うと言う選択を選んだのです。

その言葉の中にはそんな彼、兜剣造の覚悟が伺えます。

大騒ぎ！宴会大騒動 → より

「やつべえ・・・勢い余つて壊しちまつた・・・これじゃ此処の人  
に怒られちまうなあ」

自分の命が狙われていた事よりも田の前の機械を壊してしまった事の方を心配する辺り弁慶の図太さと直つか鈍感さと言つのが伺えます。

「それに、先輩が言つてたんだ。『可愛い子ちゃんはどんな事があつても守るもんだ』ってさ」

先輩とは恐らくあの人でしょうね。

それに弁慶なら恐らく教わつてなくとも助けたでしょう。  
そんな性格だし・・・

「わあ、皆の頭を少し冷やしてあげるわよん」

これはハツキリ言つて悪ふざけです。

気分を悪くした読者の皆様・・・誠に申し訳ありませんでした。

「フハイトちやん・・・やつと私の小説で白い魔王になれそ�だ

よ

そいつのなはなさですが結局魔王にはなれず仕舞いでした。

「主よ・・・あんた私を大扱いしてないか?」

嫌なら人型になれば良いのに・・・

外伝1 天才コック「兜 甲児」！？ より

「成る程、要するに使いつぱしりみたいなもんか

使い魔に対してもそんな発言するのは甲児位なもんです。

「美味しい！・・・でも、何故か悔しい・・・」

女性にとつては屈辱なのでしうね。

登場！宇宙の王者　～より

（こんな時・・・あの人居てくれたら心強いのになあ）

この一言で甲児がその人にどれ位信頼を寄せているかがわかります。

（いや、兄上は常に我等の事を気に掛けてメニューを組んでくれるから安心出来るんだ。むしろ音を上げる兵士が情けないのでないのか？）

チング達にとつては鉄也は良き兄貴なのでしきつ。

でも鉄也の特訓についていくつて相当な物ですよね。

「良い！たかが10歳の若人に先を越された私達の心の痛みを死ぬほどあの二人に思い知らせてやるのよー。」

とか言つてゐるティアナさん。  
號が泣きますよ。

「辛かつただろ？・・・泣きたい時に泣けないのは辛いからな・・・  
今は思いつきり泣け」

鉄也の少年時代はそれは悲惨な物だったと思えます。  
物心ついた頃には両親はおらず孤児として生き、剣造の元に引き取  
られてからは地獄の特訓の繰り返し。

気がつけば青春など謳歌する暇すら無かつた悲しい人生です。  
ですから鉄也には少女の辛さが痛い程分かるのでしょうか。

「贅沢言つな！國家権力の狗でも生活は苦しいんだよ

何時の世も不景氣は辛いですね。

「良いか！奴等と戦つてんのはお前等だけじゃねえ！俺達だって命  
掛けで戦つてんだ！そんなのに適わねえからって尻尾巻いて逃げる  
なんざ出来る訳ねえだろ？が！」

甲児に意地があるのと同じように暗黒寺にも意地があります。

「てめえにだけは言われたくない！良いか！絶対に妹を泣かせんじ  
やねえぞ！そん時は地獄の果てまで行つてでもお前をぶん殴つてや  
るからよ」

妹想いのティーダを気遣う暗黒寺。

二人の友情の厚さがわかる一言にしました。

「すまねえな・・・俺が駆けつければあいつを助けてやれたってのに・・・」

友の死は辛い物です。

暗黒寺は知らず知らずの内に友の死を自分のせいにしていたのでしょう。

「ああ？ 知らねえなあ。俺つちは元々そんなに頭良くないんでなあ。だけどなあ・・・ダチ公を侮辱されて黙つてられる程、人間出来ちや居ねえんだよ！」

友を侮辱されて怒った暗黒寺。

ですがさすがに拳銃を突き立てるのはやりすぎです。

「下駄の緒が切れた際に結んでもあげると高感度がアップするよ」

JIROHAIが違うでしょ！

「いや、いつ時はだな、年上の者としてあの一人の行く末を見守つてやるのが筋と言つ物だろう。それを彼氏が居ないからと言つ理由で詰まらぬ行為に走るなど、愚の骨頂だぞお前等」

最もな事を言つチソク。

ですが彼女はこの後・・・

「悪いが、俺を頼つてきた子を無下に出来る程落ちぶれちゃいないでな。それに俺は悪事に加担する気はさらさら無い」

普段は冷たい印象を感じますが鉄也も列記とした熱血漢です。目の前で困っている人を放つて置ける筈がありません。

「つたりめえだろう！事件のある所暗黒寺あり！だぜ」

返つてやせじになつたな・・・

『ああ、だが一発勝負だ！ドッキングに失敗したら全ての終わりだと思つてくれ！』

いつ言わると逆に燃えてきますよね。

因みにこの台詞の元ネタは言わばも知れたあのシーンです。

「悪魔め・・・」

普段は心優しい大介が円盤獣に対して言い放った言葉。彼の胸の内に眠る憎しみをそのままぶつけた様な言葉です。

「だからと云つて何時までも寝ている訳には行かないだろ？！体が鈍っちゃう

例え重症を負つても鉄也は特訓を止めないでしょう。  
流石特訓マニアです。

「俺は父親が何なのか知らないんだ。頼む、教えてくれ・・・俺はどうすれば良いんだ」

父親と言うのを創造の地獄の特訓でしか知らない鉄也にとって自分が父親になるのはとても大変な事でした。  
でも鉄也さんなら大丈夫でしょう・・・多分。

「いや・・・あの顔はきっと変人を通り越して変態よせり」と

貴方に言われたら本末転倒ですよ。

「でも、暗黒寺さんは國家権力の『狗』なんでしょう？」

ティアナにしては上手い冗談だとの時思いました。

「だからよ・・・そんな気に病むな・・・お前がやった事は正しいんだからよ」

記者会見の際にもしてティアナが暗黒寺を止めてなかつたら確實に暗黒寺はその上司を射殺していたでしょ？

そうなつたら一度と暗黒寺は婆婆に出る事は無かつたと思われます。

この一言にはその感謝の想いが籠つているのでしょうかね。

Striker's 編終幕 古代のマジンガー！？ より

（ユーノ、男見せねえと・・・なのは他の男に獲られちまつざ  
え）

この世界でなのはは怖い人も知れませんがダイナミックの世界ではもっと怖い人が居ますのでなのはは寧ろ日茶狙い日なのだと思われます。

「娘が心配か？鉄也」

「まあな、今頃首を長くして待つてるだりうし」

鉄也さんもこの時には一端の父親ですね。

「お前・・・それで調査つて呼べるのかよ」

文化遺産を壊しちゃダメですよ。

「見てください、この絵は描かれた物でもなければ彫られた物でもない・・・まるで初めから其処にあつたかのように描かれています」  
あの時の台詞をそのまま抜き取った感じです。  
分かる人は殆ど居るかなあ？

「『遥か昔・・・我等人の子を守る為黒き魔神が神々に戦いを挑んだ  
我等はその戦いを後の世に伝える為、此処に書き記す』・・・って、  
書いてありますよ」

この記録は後に覚えておくと結構面白い事になるかなあと思つてわ  
ざとつぽく書きました。

「『黒き魔神の力で神々は退かせる事が出来た、だがその神々の中  
から最強の7人の將軍、そしてそれを束ねる大將軍が現れる  
魔神は苦しい戦いになるもこれに勝利し、我等人の子に光を授けて  
くれた』・・・って書いてありますよ」

誰と戦つてるか分かりますよね。

「『神々は遂に我等を滅ぼす事を決めた。今黒き魔神の前に立つて  
いるのは地獄の王、冥府の王である『暗黒神』である。暗黒神は地  
獄の業火で地を焼き海を枯らし、空を黒く染める  
黒き魔神もこれに挑むも力及ばず、我等人の子は、只救いを求め祈  
るしか道は無かつた』・・・って書いてありますよ』

文章の書き方は某F P S風R P Gを参考にしてます。  
そしてこれの相手も勿論分かりますね。

「『我等人の子、遂に冥府の王を封じ込める術を見つける。遙か昔、古代の失われし都より授かつた呪われし書。我等はこれを用いて冥府の王を封じ込める事が出来た  
だが、黒き魔神もまた神々との戦いに傷つき深き眠りにつく魔神に選ばれし者・・・』ゼノンと共に『つて書いてありますよ

此処で初めてゼノンを出しました。

名前だけですけどとっても重要なキャラクターです。  
多分『Force編』までは・・・

「それじゃ読みますね・・・『我等人の子を守りし黒き魔神・・・  
我等人の子はこの偉大なる黒き魔神をこの神殿に祭る。  
黒き神・・・』ゴッドマジンガー』を此処に永遠に祭る  
そして、何時の日か、再びこの地に災いが振り注ぐ時、魔神の戦士  
の意思を告ぐ者が現れ、必ずや災いを打ち滅ぼすと信じて・・・  
・つて書いてあります」

此処までスケールがでかくなったのには正直自分でも驚きます。

「剣造・・・どうやら今回の事件・・・ワシ等には無関係とは行か  
なくなつたぞ」

この一言に全てが詰まっている・・・風に書きました。

次回は無印編をお送りします  
お問い合わせの場合は、  
D y n a m i c の 章  
S T S 編（後書き）

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1681z/>

名言集 ver~Dynamic

2011年12月5日23時46分発行